

ケースで考える債権法改正

森田宏樹 監修

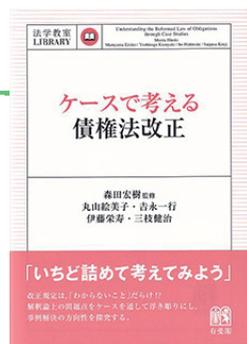
丸山絵美子 = 吉永一行 = 伊藤栄寿 = 三枝健治 著

2022年2月発売 / 402頁 / 定価3740円(税込)

A5判 / 並製



詳細を見る



編集
担当者
から

いわゆる債権法改正は、2020（令和2）年4月1日から施行されました。大学の講義や定期試験はもちろん、司法試験なども新法で出題がなされます。教科書や判例集も改正に対応した改訂が順次され、みなさんも新法の理解を進めているかと思います。

本書は、「法学教室」に掲載された同名連載を加筆などしてまとめたものです。改正規定をケースに当てはめようとする疑問が生じる・解法に困る場面があるから、一度しっかり考えてみようという趣旨で始めた連載。検討会合でも、先生方が悩む姿を幾度と見ました。旧法下での判例法理や解釈論を規定に反映し、国民にわかりやすい内容にすることも目的にされた改正なので、講義や教科書などでもすっきり解説されることがあり、「わかった」と感じることも多いと思います。でも、ケースで実際に規定を使うとなると…。

すんなり理解できたと思ったときこそ、一旦立ち止まり、本書でケースに当てはめて考えてみてください。理解の綻びや穴に気づくことができると思います。（鈴木）

Index



主要な改正点を取り上げ、ケースを素材に深く、丁寧に解説します。

- | | |
|---------------------------|-------------------------------------|
| 第1講 錯誤 | 第14講 相殺 |
| 第2講 代理 | 第15講 定型約款 |
| 第3講 無効・取消しの効果 | 第16講 特定物売買と危険負担 |
| 第4講 消滅時効・時効障害 | 第17講 売買の解除 |
| 第5講 受領遅滞 | 第18講 売買目的物に契約不適合がある
場合の代金減額請求権 |
| 第6講 債務不履行による損害賠償の帰
責事由 | 第19講 種類債権の「特定」 |
| 第7講 詐害行為取消権の要件 | 第20講 賃貸不動産の譲渡に伴う賃貸人
の地位の移転と地位の留保 |
| 第8講 詐害行為取消権の効果 | 第21講 賃借人の賃借物返還義務・原状
回復義務・収去義務 |
| 第9講 連帯債務 | 第22講 請負における報酬債権 |
| 第10講 保証 | 第23講 請負における契約不適合責任 |
| 第11講 債権譲渡制限特約 | 第24講 寄託 |
| 第12講 債務引受 | |
| 第13講 弁済による代位 | |